

混合テスト 報告書

〇〇食品販売株式会社 様

2023 年 4 月 1 日 気温 15 度 湿度 50 %

株式会社 **クテックス**

機種	NS-P-S 混合量 150L	使用部品	くし羽根 標準タイプx2枚
商品名	紅しょうが 着色	目的・方法	ムラなく生姜に色素(赤)が染まるか検証 【2回行う】

原料	工程	条件・所見・備考
しょうが kg	水切り	網カゴを使用4袋の水を切る
水 リットル 色素(赤) g	投入	ドラム内水80リットルと色素(全量)を入れる 【運転条件 15rpm 正回転 30度】で1分程搅拌する 40リットルを取り出す。(2回分に分ける)
しょうが kg	投入	ドラム内に水切りしたしょうがを、ほぐさずにそのまま入れる(4袋)
	混合 15分	【運転条件 10rpm 正回転 30度】 負荷の少ないソフトな混合運転、ほぐれながらしっかりと混ざっている。
	漬込み 3時間	ドラムを真上に向け3時間放置
同作業を2回行いました。	サンプリング	ドラムから液を排出後、紅しょうがをサンプリング 生姜の部位によって差がみられる

水切り



混合運転中



1回目(左 作業前、中 15分搅拌後、右 3時間漬込み後)



40リットル 液体(赤)



15分後運転後



しょうが40kgと投入



漬け込み3時間



2回目(左 作業前、中 15分搅拌後、右 3時間漬込み後)



まとめ

しょうが〇〇kg、液体40リットルの混合は原料に負荷がかからないソフト運転し、しょうがは、前後、上下に流動しながらほぐれていた事から設定条件は適切であったと思われます。

蓋なし混合量 90リットル、蓋あり混合量 150リットルの投入量になると思います(再度検証は必要となります)

色の染み込み具合は、生姜の部位によって、濃い薄いなど微妙な差が出ている。